

第8回名古屋大学博物館企画展記録 版画に込められた民衆のねがい 中国伝統年画

Record of the 8th NUM Special Display
“Chinese woodcuts depicting people’s wishes for a better life,
traditionally displayed around the beginning of the New Year”

西川輝昭 (NISHIKAWA Teruaki)¹⁾・辻 千春 (TSUJI Chiharu)²⁾

1) 名古屋大学博物館

The Nagoya University Museum, Chikusa-ku, Nagoya 464-8601, Japan

2) 名古屋大学博物館研究協力者

Research fellow of the Nagoya University Museum

場所：名古屋大学博物館（古川記念館内）

会期：2006年1月25日から2月26日

本記録は、第8回名古屋大学博物館企画展（図1）の展示内容を忠実に記録したものである。ただし、説明文の送り仮名や段落わけを省略するなど、幾分簡略化した。報告者の注記は鍵かっこで囲んで示す。なお、本企画展の内容は、名古屋大学博物館のホームページに置かれた「意匠文化データベース」の「中国年画」で見ることができる（<http://nenga.num.nagoya-u.ac.jp>）。

ご挨拶

名古屋市天白区の浅見 汎ご夫妻は、長年、東アジア各地で収集された膨大な民俗資料を、2004年から当館に寄贈して下さっています。そのうち、中国伝統年画はおもに1980年代後半に収集され、半数は中国に寄贈されましたが、残り約700点が当館に収蔵されています。

このコレクションの調査研究が、総長裁量経費の援助を得て、当館の西川輝昭教授と当博物館研究協力者の辻 千春博士によって行われてきました。今回の企画展は、その成果の一端をご紹介しますものです。

中国伝統年画の独特のデザインを楽しんでいただき、そこに託されたメッセージを読み解くおもしろさとともに、漢字文化、中国の風土、民衆の考えなどの理解の一助になれば幸いです。きっと何か新しい発見があると思います。

なお、展示されている剪紙（中国切り絵）も浅見さんが集められたものです。

貴重な資料をご寄贈いただいた浅見 汎ご夫妻に心から御礼申し上げますとともに、本企画展のために種々ご尽力くださった辻 千春、三国隆敏、長坂康代、涂 善祥、ボルガ、加藤鉦治の各位に御礼申し上げます。

2006年1月25日

名古屋大学博物館長 足立 守

1. 導入部 [図2]

中国伝統年画は、民衆が幸福、栄華、立身出世、厄よけなどを願って飾る木版画で、春節（旧暦の正月、本年は1月29日）を祝って、毎年新しいものが家の門口や室内の壁に飾られます。時代を反映した民衆の心を映す素朴な民間芸術として千年以上も受け継がれ、産地ごとに独特のデザインを生み出して来ました。今でも人々に親しまれています。



図1 企画展ポスター



図2 中国北京の民家入り口を再現した写真パネル。年画が貼られている。

2. 中国伝統年画の産地 [地図パネルを省略]

3. 年画を読み解く—図案にこめられた願い

福善吉慶（よいことがたくさんありますように） [図3]

こうもり（蝙蝠、ピエンフ）と右の童子が持つ芭蕉扇（扇子、シャンツ）をあわせ、同音の「福善」（フシャン、幸福）を、左の童子のみかん（桔子、チュイツ）と中央の童子が持つ古代楽器「玉磬」（ユイチン）をあわせ、同音の「吉慶」（チュイチン、縁起）をあらわします。また、蝙蝠は遍福（福で満ちる）と同音ともなっています。服の模様の蝶と髪飾りの桃は長寿、地面におかれた木蘭は吉祥柄です。童子が首に巻いた鳥の尾羽は伝説の鳥「鸾」（ルアン）で吉祥、芭蕉葉は長寿をあらわします。天津・楊柳青産。



図3 福善吉慶



図4 福寿三多

福寿三多（よいことがあり、こどもがたくさんできますように）〔図4〕

三多とは「多福 多寿 多子」のこと。仏手柑が幸福を、桃が長寿を、ザクロが子宝を、それぞれ象徴しています。コウモリは福、芭蕉と鶴（仙鶴）は長命のシンボルです。天津・楊柳青産。

4. 年画の技法〔図5〕

現代ではオフセット印刷されることもありますが、本来は木版印刷です。楊柳青などでは、輪郭の黒線のみを版画で刷り、他は主に手描きで彩色します。武強・朱仙鎮などでは、すべてを版画で多色刷りします。使用する紙は一般に薄くて弱いので、さっと刷ります。裏打ち（表装）して市販されることもあります。※製作風景を映像コーナーでご覧いただけます。



武強で年画制作に使われる道具
彫刻刀、絵の具をとかす皿と刷毛、刷るためのバレンです
刷毛とバレンは、棕櫚（シュロ）の樹皮から作られています



武強の多色刷り年画の制作過程
黒で輪郭を刷り、次々に色を重ねていきます。ベトナム年画とは刷り方が逆です（ベトナム年画コーナーのケースをご覧ください） 個人蔵

中国年画の刷りの原理（模型）

- ・用紙の一端は束ねられています
- ・刷り終わった紙は溝に落とします（手で触れてお試し下さい）
- ・色を重ねる時にズレないように版木を木槌で少しずつ移動させます



図5 中国年画の技法



図6 漁婦

漁婦（よいことが ありあまるくらいたくさんありますように）〔図6〕

左は輪郭だけが版画で黒く刷られています。右はそこに手描きで彩色された完成品です。

女性の容姿は、京劇の衣装に似て非常に装飾的です。女性の服には梅、竹、蓮、髪飾りにもモクセイや牡丹といった縁起のよい植物が使われています。子供の前掛けにも梅が描かれています。魚は余（有り余ること）と同音です。モクセイが使われるのは、この花の色に金、銀、丹（赤）があるからです。天津・楊柳青産。

5. 地域による違い（1）—麒麟送子、天仙送子〔図7～12〕

麒麟送子、天仙送子（かしこいおとこのこがうまれますように）

麒麟が天界から賢い男子（貴子）をもたらすとの伝説を表しています。麒麟とは、一説には鹿の身体、牛の尾、馬の蹄を持ち、体は五色に彩られて腹部が黄色という想像上の動物で、縁起がよいものとされます。新婚家庭ではこの図を飾って貴子の誕生を願いますが、男尊女卑時代の名残とも言えます。子供に付き添っているのは天女（仙女）で、1人か2人かという違いが見られます。また、天女が観音あるいは武将となっている図柄もあります。



図7 麒麟送子（蘇州・桃花塢） 子供が「如意」、(如意=意のままになる)という仏具と、牡丹、モクセイ、笙（モクセイの枝に下がっている）を持っています。服には菊や梅が描かれています。



図8 麒麟送子（蘇州・桃花塢）書かれている文字は、「天上界から麒麟が運んできた子は、人間界で科挙に首席で合格する」という意味です。「科挙」とは中国で長く続いた試験制度で、後のコーナーに説明があります。珠玉があちこちに見られます。



図9 麒麟送子(河北省・武強)天女は蓮(次々という意味の「連」と同音)やモクセイを手にし、楽器の「笙」(「生」と同音)をかかえています。地面には珠玉(財宝)や銭が見られます。



図10 麒麟送子(山東省・楊家埠) 左上の文字「蘭房」(ランファン)は「あなた様のお宅」という意味です。天女の手には牡丹の花(富貴の象徴)、胸には金魚(お金が貯まる)の文字が見られます。子供が右手に持っているのは「盒」という仏具で、その音から「合」=和合=子ができることを意味します。



図11 麒麟送子(河南省・朱仙鎮) 中央の下部にある珠玉は財宝を表し、上部には、厄除けや幸福の象徴である二匹の魚(双魚)を変形した図案がみられます。地面を表す草も描かれています。



図12 麒麟送子・天仙送子（天津・楊柳青）子供は「如意」（如意＝意のままになる）という仏具と、書籍（賢いことの象徴）を持っています。牡丹やモクレンがここにも登場しています。

6. 地域による違い（2）—五子奪魁、五子奪蓮 [図13～17]

五子奪魁、五子奪蓮（こどもがえらくなりますように）

もともとは「五子奪魁」で、大昔の中国に竇禹鈞（タオウユチュン）という人がいて、5人の子供がすべて科挙に及第したという伝説が背景になっています。「魁」は科挙の第1位合格者のことで、5人の兄弟が競い合って「盔」（かぶとのこと）（魁と同音）を取ろうとする様子を描いています。「五子奪蓮」はここから発想され、かぶとでなくて蓮を奪い合う様子を描きます。蓮が、次々にという意味の「連」と同音であることから、連続して科挙に及第する意味がこめられています。科挙とは、中国で隋から清の時代まで続いた、高級官僚を選ぶ試験制度です。難関で、競争率が3千倍にもなったそうです。



図13 五子奪蓮 (天津・楊柳青)



図14 五子奪魁 (河南省・朱仙鎮)



図15 五子奪魁 (蘇州・桃花塢) 原画は清朝末期の画家呉友如の作。彼は、絵入り新聞『飛影閣画報』を発行したことで有名です。枠飾りには、こうもり、牡丹、桃、盤長が描かれています。



図16 五子奪魁 (山東省・楊家埠)



図17 歳朝図（蘇州・桃花塢）「五子奪魁」のほか、金魚鉢に手を入れてのいたずら、武術の練習、囲碁など、子供たちのさまざまな様子が描かれています。また、中央上部には、右から「張仙送子」（大人が子供を抱え挙げている）、「和合二聖」（肩を組んだ二人）、「群鶴報喜」（群れる鳥）など新年にちなんだおめでたい図像が描かれています。

7. 時代による違い—楊柳青で1960年代と80年代に制作された「仕女遊春」〔図18〕

仕女遊春（つかのまのいきぬき）

宮中で二人の美人に侍女（左端）が従い、牡丹の花が咲きほこる春の庭で、気晴らしに果物を採って遊んでいる風景です。対になったものの左半分の展示です。

浅見コレクションの中に、図柄がまったくおなじ楊柳青の年画があります。紙質の劣化の度合いなどから、ひとつ〔図18左〕は1960年代に、そしてもうひとつ〔図18右〕は1980年代に制作されたものと思われます。両者のおもな違いはちらし〔図19〕に書かれています。

8. 中国年画のいろいろ〔図20～32〕

寿字八仙（しあわせにながいきをしますように）〔図20〕

長老の長寿を願って飾られます。中央あたりに福祿寿の三星が描かれるほか、八仙人、西王母、東方朔、孫悟空などの神仙や、仙山楼閣、松柏（不老）、鹿（出世）、瑞雲（吉祥）、桃、鶴、「冠帯伝流」（官吏の帯や冠を載せた船（＝伝と同音）を子供が引いてくる図で、代々科挙に及第する人材が出ることを願う）など、めでたい図柄がふんだんに盛り込まれています。蘇州・桃花塢産。

揺銭樹（おかねがいっぱいたまりますように）〔図21〕

樹上の子供が持っている旗に書いてあるように、「宝が集まって財産が豊富」になることを願う年画です。樹の下に「龍銭樹」と書かれているように、自然界を司どる神である龍が銭をくわえて幹に



図18 仕女遊春（天津・楊柳青）左は1960年代、右は1980年代に制作。

巻きつき、根元には宝物が無限に湧き出す「聚宝盆」、さらに、「活財神」、「黄金万両」、「堆金積玉」など、蓄財の願いに満ちています。山東省・楊家埠産。

竈神図（かまどのかみさま）〔図22〕

かまどの近くに貼る年画で、中央に竈の神様（夫婦）、その上に暦、最上部には天宮、竈神の下には文門神、最下部には鶏（暁を告げる）と犬（夜の番）が描かれています。枠飾りには八仙人や龍なども描かれています。この年画は毎年、12月23日に古いものを燃やします。煙が上りその家の善行を天の神様に伝えてくれれば来年も吉祥がもたらされるとして、良いことを告げて（悪いことは黙っていて）もらうために竈神の唇に飴やお酒を塗り、お供え物をしてから燃やします。河北省・武強産。

斧鉞五子武門神（わるいことをおいはらい、よいことができますように）〔図23〕

邪を払い厄を除く恐ろしげな門神は、年画の主な題材のひとつです。そこに添えられた5人の子供の図柄には、賢い子がたくさん授かるようにとの願いが込められています。湖南省・灘頭産。

中国 楊柳青年画 「仕女遊春」の2枚を
比べてみると・・・

	左 1960年代制作と思われる作品	右 1980年代制作と思われる作品
木版による 多色刷	あちこちに見られる たとえば ・背景のシュロや手前の牡丹の幹 や葉 ・掲げられている花かご ・窓枠 ・塀の石垣 ・衣服の模様 ・髪飾りの花や葉	見られない (黒い輪郭以外はすべて手彩色)
色 彩	落ち着いた色使い	華やか
まつげ	なし	あり

このほか、花かごの色使い（房が本体と同色かどうか）や、中央女性の衣服の裾模様などにも違いが見られます。

図19 「仕女遊春」の新旧比較（会場配布のちらし）

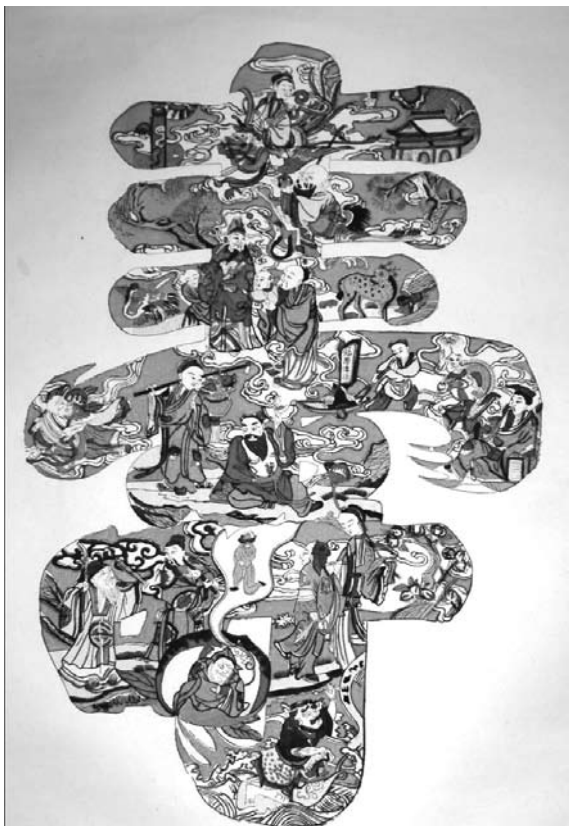


図20 寿字八仙



図21 揺銭樹



図 22 龍神図



図 23 斧鉞五子武門神

神虎鎮宅 (わるいことをのぞき、いえをまもってくれますように) [図 24]

中国では古来より虎は鬼を食うとされ、厄除や守護のため門口に彫刻されたり、年画として描かれたりしてきました。この作品も、神虎が家を護ってくれることを願って飾られます。山東省・楊家埠産。

鍾馗 (びょうきにかかりませんように、あたまがよくなりますように) [図 25]

鍾馗が剣で福 (コウモリと同音) を招いています。「端午の節句」に鍾馗の像を飾る日本の風習は、中国から伝わったものです。唐の玄宗皇帝が病に苦しみ、悪鬼に悩まされていた夢のなかに、鍾馗が登場してそれを退治した結果、病気も治ったとの故事によります。河北省・武強産。

吉祥如意 (よいことがおもいどおりになりますように) [図 26]

福の神である天官 (道教の三官のひとつ) が、「吉祥如意」(良い事ばかりが思い通りに実現する) と書いた巻物を広げています。陝西省・鳳翔産。

笊家灘 (おはなしのひとつ) [図 27]

2つ1組のうちのひとつで、10世紀の五代十国時代、後梁の王彦章 (下) と、唐の史建瑭 (上) との戦いを描いたものです (もうひとつは、王と高行周との笊家灘の戦いを描く)。両名の頭部からは「虎」の気が立ちのぼり、コウモリも飛来して、守護平安と幸福を願う図となっています。王はヒゲを伸ばし、身長3メートル余、60キロの「鉄槍」を持っています。対する史は弱冠14歳、身長2メートル余、手にした金鞭で王を一撃して退散させたと言われます。河南省・朱仙鎮産。



图 24 神虎鎮宅



图 25 鍾馗



图 26 吉祥如意



图 27 笏家灘

六月亮経（おはなし（西遊記）のひとつ）〔図 28〕

「西遊記」で、通天河を渡るときに濡らした経典を乾かしているシーンです。この他、「三国志演義」、「封神演義」、「紅樓夢」といった小説や戯曲の一場面も、よく年画の題材にされます。娯楽の少ない時代、観劇は庶民の楽しみの一つでしたから、出し物の一場面を描いた年画が好まれたのです。陝西省・鳳翔産。



図 28 六月亮経

雀鹿蜂猴（よいしごとにつき、おかねがいっぱいもらえますように）〔図 29〕

雀（孔雀）、鹿、蜂、猴（猿）の四種類の動物はそれぞれ、確（かく）、禄（ろく）、封（ほう）、侯（こう）と同音で、良い官職をえて収入が安定するとの意味が込められています。河北省・武強産。

和気吉祥（わきあいあい、みんななかよく）〔図 30〕

「一団和気」（仲睦まじい）、「和気致祥」（仲睦まじいことは吉）という題名でも呼ばれます。家庭の親睦、幸福な生活、万事が順風であれと願う年画です。円形（円満、団結）で、首に「長命富貴」の銀飾りを下げ、手に「和気吉祥」の巻物をもったこの図柄は、明の時代からのものといわれます。蘇州・桃花塢産。

母子同楽（おやこであそぼう）〔図 31〕

新年の娯楽として、母親と子供が楽器を奏でて楽しんでいる様子を描いたものです。四川省・綿竹産。

騎車美人（じてんしゃのおねえさん）〔図 32〕

女性が外で自転車に乗っている図柄は、20世紀初頭における中国の近代化を象徴しています。従来の伝統年画とくらべて特異な図柄なので、今日見ても新鮮で、その時代を十分にしのぶことができる面白い作品です。四川省・綿竹産。



图 29 雀鹿蜂猴



图 30 和氣吉祥



图 31 母子同樂

9. 金魚（おかねがたくさんありますように）〔図33～37〕

金魚（チンユイ）は金余（チンユイ、財産があり余ること）と同音です。また、金魚鉢＝池＝塘（タン）



図32 騎車美人

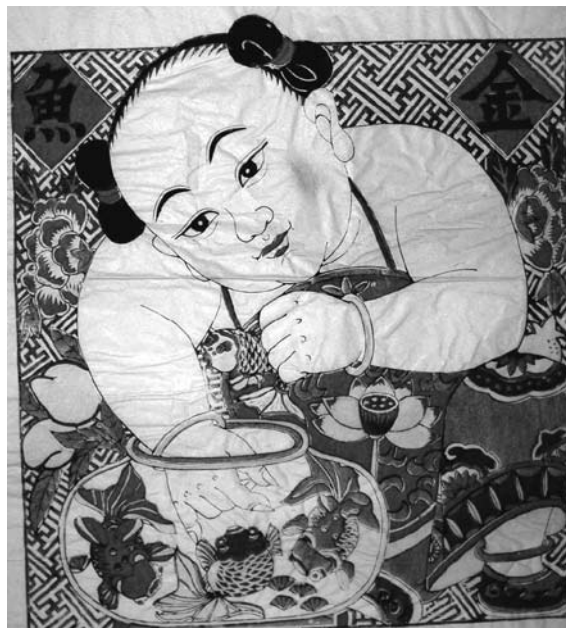


図33 金魚（山東省・楊家埠）



図34 子魚臥蓮（天津・楊柳青）



図35 蓮年有餘（天津・楊柳青）



図36 剪紙・子魚臥蓮（天津）



図37 剪紙・蓮年有餘（河北省・蔚縣）

は堂（タン、家の広間）と同音で、財貨が広間に満ちているというおめでたい図柄です [図 33]。金魚のデザインは、年画だけでなく、剪紙（切り絵）にも使われています [図 36、37]。

10. ベトナム年画をたずねて [図 38～41]

年画は中国だけでなく、ベトナムでも制作されています。ハノイ近郊のドンホー村では、ゾーという植物の皮から紙を漉き、絵の具は貝殻の粉末（白色）、赤鉄鉱や褐鉄鉱（赤色）、各種の植物など天然素材です。貝殻のやや粗い粉末は、絵の具がにじまないように紙全体に塗るためにも使われています。昔ながらのこの技法を保護するためにユネスコが活動しています。中国風の図案には、漢字らしいものが添えられていますが、ベトナムで現在漢字が使われなくなっているため、読めないほど変形していることも少なくありません。

※制作風景は映像コーナーでご覧下さい。

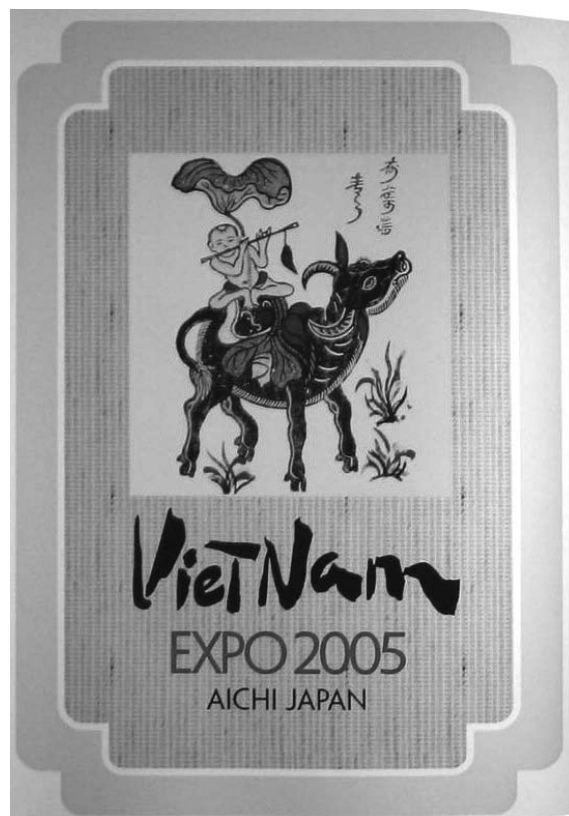


図 38 年画をつかったベトナムの愛知万博ポスター（万博会場で撮影）



図 39 ベトナム年画の版木 中国年画と違い、黒い輪郭を一番最後に刷ります。印刷には、版木をスタンプのように押し付けます。



図40 ベトナム年画

鼠の嫁取り・鼠の進士 [図41]

中国年画「鼠の嫁入り」と図柄がそっくりなベトナム年画がありますが、意味がだいぶ変化しているようです。左は「鼠の嫁取り」、右は「鼠の進士」です。漢字は変形していてほとんど読めませんが、右の絵の「進士」は科挙の最終試験合格者のことです。それぞれの絵の右上にいる猫は、この場合、鼠の嫁入り先ではなくて、幸福な結婚や進士試験合格を左右する実力者を意味し、それに賄賂（魚、鳥）を贈る悪い風習が風刺されています（麗澤大学 金丸良子氏による）。ベトナム・ドンホー産。



図41 ベトナム年画の「鼠の嫁取り」(左)と「鼠の進士」(右)。

中国年画の「老鼠娶嫁」(おはなし「ねずみのよめいり」) [図42]

中国各地の年画でよくとりあげられる題材です。鼠の老夫婦が、一人娘には暗く冷たい穴倉生活をさせたくないという願い、権勢ある嫁ぎ先を求めてより強いものを尋ね歩いた結果、最後に猫にたどり着

きます。猫に嫁いだ娘鼠があつという間に食べられてしまったことから、「高望みするな」という教訓話です。中国・楊家埠のこの年画では、新婦が人間に描かれていますが、新郎が人間であるもの、あるいはすべて鼠のものなどさまざまに表現されています。上部には「鼠は本来強く(姓は性の誤り、年画には誤字が多い)、穀倉に住む。結婚式の日には、新郎の扮装をした」とあります。なお、清代末期の年画には、猫を西洋人に見立て、列強の侵略を許す清朝やその官吏を鼠として描いたものもあります。



図 42 中国年画の「老鼠娶嫁」

11. 映像コーナー

中国・楊柳青とベトナム・ドンホーの年画の制作風景を映像で紹介します。流れている音楽は、涂善祥作・演奏の「雪花」です。使用を快諾された涂さんに深謝します。

12. 体験コーナー：年画に挑戦

版画を刷ってみよう [多色刷り版画の刷り方説明は省略]

版画に色をつけよう：はがきに刷ってある版画にぬり絵の要領で色をつけてみよう

版木は佐渡在住の三国隆敏氏のご厚意により、この体験コーナー用に製作されたものです。

会期中に開催された講演会とコンサート

〈第 48 回博物館特別講演会：博物館講義室において〉

「飾り絵からプロパガンダまで—中国年画のたどった道」

講師：辻 千春（中京女子大学アジア文化研究所客員研究員）

日時：2006 年 2 月 10 日（金）14 時から 15 時 30 分

〈NUMCo 博物館コンサート：博物館展示室において〉

中国琵琶 新春のしらべ（演奏：涂 善祥）

日時：2006 年 1 月 25 日（水）12 時 15 分から 13 時 30 分

馬頭琴コンサート（演奏：ボリガ）

日時：2006 年 2 月 10 日（金）12 時 15 分から 13 時 30 分

**さがしてみよう
かんがえてみよう**

第8回名古屋大学博物館企画展
版画に込められた民衆の願い
中国伝統年画



明けまして おめでとうございます
今年も名古屋大学博物館を
よろしく願い致します

今年の1月29日は、旧暦(むかしの
カレンダー)の1月1日です。
日本でも約130年前まで旧暦を使って

いました。いまでも「お月見」などは
旧暦を使っておこなっています。

「年画」は、中国で旧暦のお正月(春節)
に張り替える絵(版画)です。

この絵には、「こんな風になりたいな」と
言う みんなの 願いが込められて
います。
また、神様の絵を張って、厄(悪いこと)
から、逃れようと願います。
お話し の絵もあります。



ほくはお金持ちに
なりたいな～
おかねもちの絵を
かざろうかな～

これが
こうもり??



年画には、よく「こうもり」などの決まった
柄(絵)が書いてあります。これを吉祥
柄(おめでたいきざしの絵)と呼びます。

どうして「こうもり」がめでたいのでしょうか?

中国語では「こうもり」蝙蝠 と「た
くさんの幸福」運福 の発音(しゃべり
かた)が一緒なのです。だから、「たくさ
んの幸福」という意味で「こうもり」を描き
ます。

ほかにも……

「さかな」魚 = 「たくさん余りあまる」余

「しか」鹿 = 「(良い)お給料」禄
「にわとり」鶏 = 「よいこと」吉
「みかん」桔子 = 「よいこと」吉
などいろいろあります



金魚ってどんな
おわかい なんだろう
答えは てんじの
中にあるよ
サルくんは
これを はるのかな～



年画があるのは中国だけではなくありませ
ん。中国のお隣の国「ベトナム」にもあり
ます。ベトナムの年画も元々は中国か
ら伝わった物です。しかし長い間に、
お話の内容が変わったものもあります。

中国のネズミの輸入
りは、強いお熊さん
をさがしたら、結局、
猫と結婚して、すぐ
に食べられてしまおう
と言うお話



中国の年画

ベトナムは、
結婚をするのも贈り物しだい
という世の中を
批判した絵



ベトナムの年画

なんだか漢字も
おかしいわ



2006年1月25日作製

図 43 小学生向けの展示解説パンフレット (野崎ますみ作成)